

令和4年4月28日会議概要

第1 日時

令和4年4月28日（木）午前9時20分から午前11時50分までの間

第2 出席者

森委員長、平林委員、森田委員、増田委員、在田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 本部長挨拶

本部長から、「日々、府民の要望・社会情勢が変化する中で、公安委員の方々からの意見を通じて府民の意見等を適切に汲み取り、警察行政に反映してまいりたい。」旨、発言があった。

2 委員報告

(1) 府下警察署長会議（4月14日）

委員長から、「令和4年4月14日、開催された府下警察署長会議に出席した。上野本部長からの『社会の変化に対応する合理化の推進と、広い視野に立った考察をする。前例主義を排除し、必要な業務等では合理化を進める。』という基本方針に基づき、各部長から指示がなされた。本年度内に開催される次回会議では、これらの指示を生かした業務推進の成果について聞けることを期待する。」旨、発言があった。

(2) 富小路交番落成式（4月19日）

委員から、「令和4年4月19日、举行された中京警察署富小路交番落成式に参加した。参加者が実に多彩であったことが印象に残った。部内関係者等は勿論のこと、商店街役員や学校関係者等の参加もあり、交番は地域の様々な人々に支えられ、地域社会に密接に関係していることを実感した。警察組織にとって交番は正に第一線であることを改めて認識した。」旨、発言があった。

(3) 部外の会議出席時における警察活動広報

委員から、「先日、部外の会議出席時にスピーチを依頼された。その場で出席者に対し、『合図横断』、『自動車停止義務』等、横断歩道における歩行者優先の京都府警の取組みについて広報した。」旨、発言があった。

3 議題

(1) 音楽隊「南北ミュージックパトロール」の開催について

総務部長から、京都府警察音楽隊の演奏、演技を通じて府民に寄り添う頼りがいのある警察について広く府民にアピールし、府民の警察活動に対する更なる理解と協力を得ることを目的として、北部地域及び南部地域においてミュージックパトロールを開催する旨、報告があった。

(2) 令和4年度留置施設実地監査計画について

総務部長から、令和4年度の留置施設実地監査の重点項目や実施期間、監査方法等について説明があり、審議の上、了承した。

(3) 犯罪被害者等給付金（重傷病・障害）の支給裁定について

警務部長から、被害者本人による犯罪被害者等給付金支給裁定申請の受理及びこれに伴う調査・検討について説明があり、審議の上、給付金を支給することを決定した。

(4) 令和4年春の「京都府警察勲章伝達式」の実施について

警務部長から、令和4年5月11日、京都府公館において、委員出席の下、「京都府警察勲章伝達式」が実施されることについて報告があった。

(5) 令和4年3月末の犯罪情勢について（暫定値）

生活安全部長から、令和4年3月末の刑法犯認知件数や府下重点抑止犯罪である自転車盗、特殊詐欺等の認知状況、検挙率等について報告があった。

委員から、「侵入窃盗が増加傾向にあると報告を受けたが、体感治安向上のため、しっかりと対応願いたい。」旨、発言があった。

別の委員から、「侵入窃盗に対する防犯対策としてどのようなものがあるのか。」旨、質問があり、本部長から、「確実な施錠は勿論のこと、感知式の防犯ライトを設置するなどし、住民の防犯意識が高いことを犯人に認知させることも重要である。」旨、回答があった。

(6) 自転車盗対策絵本の制作と配布等について

生活安全部長から、府下重点抑止犯罪である自転車盗対策として、学生防犯ボランティアアロックモンキーズと協働で制作した絵本を小学校、幼稚園等の施設に配布するとともにデジタルデータを当府警察ホームページで公開予定である旨、報告があった。

委員から、「自転車盗を敢行する犯人には犯罪であるという認識が薄い。今後、学校教育等の現場においても教育が必要である。」旨、発言があった。

本部長から、「ニューヨークで実証された『割れ窓理論』のように、自転車盗を重点抑止犯罪に指定の上、対策を講じて犯罪環境の浄化を図ることにより、重要な犯罪を減少させることにも繋げてまいりたい。」旨、発言があった。

(7) 七代目会津小鉄会の第11回指定に係る意見聴取の実施について

刑事部長から、指定暴力団七代目会津小鉄会の第11回指定に先立ち、意見聴取を実施する旨、報告があった。

(8) 令和4年3月末の京都府内の交通事故発生状況について

交通部長から、令和4年3月末現在の京都府内の地域別・時間帯別等の交通事故発生状況について報告があった。

(9) 「令和4年春の全国交通安全運動」の実施結果について

交通部長から、令和4年4月6日から同月15日までの10日間実施された「令和4年春の全国交通安全運動」の実施結果について報告があった。

委員から、「横断歩道に関して、合図横断の啓発活動は勿論大切なことであるが、横断歩行者がある場合は、車両に停止義務があり、ドライバーに対する指導も必要ではないか。」旨、質問があり、交通部長から、「先日、開催された府下交通課長等会議において、交通心

理学専攻の大学教授による講演の中で、『日本における道路交通に関する考えは、自動車優先で歩行者への意識が低い。』旨の話があった。これらも踏まえ、交通安全教育のあり方について考えてまいりたい。」旨、回答があった。

(10) 令和4年メーデーの取組概要及びデモの許可申請について

警備部長から、令和4年4月29日及び同年5月1日に開催されるメーデーの取組概要及び集会・デモの申請状況について説明があり、審議の上、申請を許可した。

(11) 「5・3憲法ウォーク」の許可申請について

警備部長から、令和4年5月3日に開催される「5・3憲法ウォーク」の申請状況について説明があり、審議の上、申請を許可した。

(12) 公安条例の許可状況について（3月申請分）

警備部長から、令和4年3月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく、集会、デモの状況について報告があった。

(13) 福井県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備部長から、福井県公安委員会から警察法第60条第1項に基づく援助の要求があり、京都府警察職員を福井県下に派遣することについて報告があった。

(14) 秋篠宮皇嗣同妃両殿下の京都府お成りに伴う警衛警備の実施結果について

警備部長から、令和4年4月22日から同月23日までの間、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の京都府お成りに伴う警衛警備の実施結果について報告があった。

(15) 追加報告

職員のコロナ感染状況について

警務部長から、前回報告以降の京都府警察職員のコロナ感染状況について報告があった。

(16) 本部長総括

本部長から、「これからゴールデンウィークを迎え、メーデー等のデモ警備が実施されるほか、観光客が増加する中で、文化財に液体を掛けられる案件等も発生していることから、これら各種事案に対し、しっかりと対応してまいりたい。また、今回の定例会におけるものも含め、公安委員の方々から頂戴した各種意見について、警察行政に適切に反映してまいりたい。」旨、発言があった。

4 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

5 個別決裁

(1) 令和4年度京都府留置施設視察委員会委員について

留置管理課長から、令和4年度京都府警察留置施設視察委員会委員に関し、推薦を依頼した各団体から挙げられた候補者等について報告があり、審議の上、了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情等申出について（受理 1 件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、受理 1 件の報告があり、処理方針を決定した。

6 聴聞

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、19件の行政処分を審議した。